

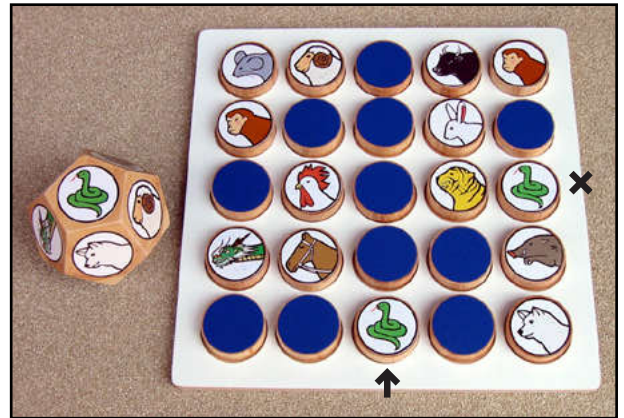
十二支ビンゴ 遊び方詳細

十二支が描いてあるコマ 2 セット分を、盤上に表向けに自由に配置しておき、干支を描いたサイコロを順番に振り、出た干支の 2 つあるコマの中のどちらか 1 つを、全員一斉に ひっくり返していき、縦・横・斜め、いずれか 1 列並べた人から勝ち順が決るとい遊びです。

1. 準備

- 1) 十二支を全て表示した十二面体のサイコロと六面体 2 つに分けて表示したサイコロ、および、人数分のビンゴのコマ、盤を用意します。
(5 人 / セットで、それぞれコマの裏面の色が変わっています)
- 2) 各自が、1 枚ずつビンゴ盤を手元に取り、盤の真ん中に絵柄が描かれていないコマを置いた後、十二支のコマ各 2 個を表向きにして自由に並べます。
・縦・横・斜めの同じ列に、同じ干支が来ないように並べた方が良いでしょう。

[サイコロ 1 個を使う場合]



2. 遊び方

- 1) じゃんけんで勝った人から、時計回りで、順番にサイコロを振り、ゲームを進めます。
- 2) サイコロを振ったら、出た目の干支が何であるか皆で確認し、全員が、それぞれに自分の盤面を見て、出た目の干支の 2 個ずつあるコマの、どちらを選んだ方が有利か考え、どちらか 1 つだけを裏返します。(サイコロを振った人だけでなく全員)
- 3) 以降、サイコロを振り手を順番に交代して進めて行き縦・横・斜め、いずれか 1 列、早く裏返しに並べた人から勝ち順が決ります。
- 4) 上がった人が出たら、その人は、サイコロを振るのをやめ、残った人だけが振ります。
- 5) サイコロは十二面体のモノと六面体のモノがありますが、六面体の場合、目が 2 つ出ますので、サイコロを振った人が、どちらかの干支を選び、全員が、選ばれた目のコマを 1 つだけ裏返します。
- 6) 通常は 2 ~ 3 周目からサイコロを 2 個に替えるのが良いでしょう。
難しい場合は、最後まで、十二面体サイコロだけでやっても良いですが、できるだけサイコロ 2 個を使って、注意分配力をつける訓練をした方が良いでしょう。

[サイコロ 2 個を使う場合]



3. 遊びの効果として、ねらったこと

- 1) サイコロで出た干支のコマが、どこにあるか見わけることで右脳を刺激します。
- 2) サイコロで出た目の、どちらか 1 つだけを裏返すことができるというルールのため、どちらを選ぶのが有利か考え決断することで前頭葉を刺激します。
- 3) 六面体のサイコロを使う場合、振った人は、自分の盤面を素早く見て、どちらの目を選ぶと有利か判断すると同時に、他の人の盤面の 4 つ裏返っているところに注意分配し、上がられないようにしなければならぬので、非常に前頭葉を刺激します。(脳レベルの下がった人には難しいです)
- 4) 運まかせの数字のビンゴと違い、2 つのコマの選び方で差がつき、努力が報いられるので、やる気になります。

[以上]